一誌一句（受贈誌11・12月号他より）

米田　透　抄出

個の思ひありやあらずや鴨の陣　（朱　雀）　田中　春生

新涼の大牧場の夜明けかな　（百　鳥）　大串　章

晩夏光誰を呼んでも谺かな　（　縹　）　花房八重子

うづくまる三毛の耳立つ芋嵐　（雲　取）　鈴木　太郎

秋茄子や朝の味噌汁熱うせよ　（　燎　）　蔵多得三郎

初鴨の寝れてをらぬ泳ぎつぷり　（　森　）　森野　稔

遠景にあそぶ番の秋の蝶　（天籟通信）　福本　弘明

長崎忌熟れしゴーヤの赤き種　（松の花）　松尾　隆信

一本の糸を手繰りて蝶渡る　（　椎　）　村松　二本

巻き癖の紙もて余す十三夜　（　陸　）　中村　和弘